

呼吸器内科 化学療法（シスプラチン+ナベルピン）を受けられる患者さんへ

様		受け持ち医師					受け持ち看護師
月日 病日	入院	点滴初日（1日目）	点滴2日目 ～ 5日目	点滴6日目 ～ 7日目	2回目の点滴日（8日目）	退院	
目標	治療の予定、注意点を理解して治療に臨める						
点滴・内服	■ 今まで飲んでいたお薬を確認します ※ 入院時に忘れずにお持ち下さい。 ※ 持参したお薬がなくなる前に、看護師にお知らせください。 ※ 睡眠剤や痛み止めなどの屯用薬は、残数が2個になったら看護師にお知らせ下さい。	■ 抗がん剤の点滴をします。 ※ 8時30分前後に、点滴用の針を留置します。 ※ 薬局で点滴を作成します。作成でき次第（10時～10時30分頃）、点滴を開始します。 ※ 血管炎の予防のため、ナベルピンの点滴前から血管を温電法します。 ①補液（2時間） ②吐気止め（15分） ③ナベルピン（10分） ④補液（30分） ⑤補液（2時間） ⑥シスプラチン（2時間） ⑦補液（1時間）⑦の側管から1）利尿剤（5時間） ⑧補液（2時間） ⑨補液（2時間）	■ 必要に応じて、流しの点滴をします。 ①吐気止め（15分） ②補液（2時間） ③補液（2時間） ④補液（2時間） ⑤補液（2時間）		■ 2回目の抗がん剤の点滴をします。 ※ 血管炎の予防のため、ナベルピンの点滴前から血管を温電法します。 ①吐気止め（15分） ②ナベルピン（10分） ③補液（30分）		
	※ イメンド（吐気止めの内服）を使用することがあります。						
検査	■ 血液検査 レントゲン 	※ 検査内容は変更されることがあります。 検査の前日に看護師が確認します。 （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン	■ 副作用の状態に応じて血液検査・レントゲンを 行います。 （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン		■ 副作用の状態に応じて血液検査・レントゲンを 行います。 （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン （ / ）血液検査 レントゲン		
観察	■ 点滴初日から6日目まで（ / ～ / ）は、尿量と体重を測定してください。尿量測定用カップはトイレにあります。 ■ 身長・体重測定 ※ 毎週火曜日は全身体重測定日です。					■ 白血球が下がっている時は白血球を上げる注射をします。 ■ 発熱時は解熱剤を内服します。必要に応じて抗生物質を開始します。 ■ 貧血・血小板減少がある時は必要に応じて輸血します。	
		■ 点滴周囲の痛みや腫れがあるときは、すぐにお知らせ下さい。 ■ アレルギー反応が起きることがあります。何か変化がありましたら、すぐに看護師にお知らせ下さい。 ■ 嘔気・嘔吐があれば、吐気止めを使用できます。 ■ 便秘や下痢がみられることがあります。必要に応じて下剤や下痢止めをお渡ししますので、看護師にお知らせ下さい。 ■ だるさやしゃっくりが起こることがあります。 ■ 補液の点滴終了後は1日1L～1.5Lの飲水をしましょう				■ 白血球が回復してくる時期です。 ■ 口内炎ができることがあります。	
活動	■ 制限はありません。体調が良ければ身体を動かしましょう。（点滴中も体を動かしますが、点滴チューブに御注意ください。） ■ 調子が良ければ外泊・退院が可能です。（外泊・外出される時は、必ず看護師より許可カードを受け取ってから行ってください。）						
清潔	■ うがい・手洗いをして下さい。 ■ 入浴ができます。						
食事		■ 制限はありません。好きなもの・口当たりの良いもので栄養を補いましょう。 ■ 吐き気で食べられない時はパンやお粥などに変更できます。 昼と夕はフルーツ食やそうめん食に変更できます。 ※ 食事変更は、朝食は前日の14時30分まで、昼食は当日9時まで、夕食は当日の13時30分までに、看護師にお伝えください。					
説明など	主治医・看護師から、診療計画書を用いた説明があります 診療計画・入院期間は患者様の病状により変更になる場合があります。副作用症状については、個人差があります。別紙のパンフレットでご説明します						